平成２２年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査）　中学校３年　社会　出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	分野及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観点 社会的事象への関心・意欲・態度	観点 社会的な思考・判断	観点 資料活用の技能・表現	観点 社会的事象についての知識・理解	主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
①	1	(1)		地理　１年	(1)ア 世界の地域構成	原油を輸入している地域を理解していること。				○	○	
②				地理　１年	(1)ア 世界の地域構成	工業製品を輸出している地域を理解していること。				○	○	
③		(2)		地理　２年	(3)ア 様々な面からとらえた日本	貿易摩擦について，理解していること。				○	○	
④		(3)	①	地理　２年	(3)ア 様々な面からとらえた日本	資料をもとに，海外生産をする日本企業のメリットについて考察できること。		○				○
⑤			②	地理　２年	(3)ア 様々な面からとらえた日本	日本の会社の生産拠点を，日本国外に移すことによる日本国内の影響について考察できること。		○				○
⑥	2	(1)		歴史　２年	(5)キ 近現代の日本と世界	２つの地図を比較して，第二次世界大戦後の国際社会の変化を読みとること。			○		○	
⑦		(2)		歴史　２年	(5)キ 近現代の日本と世界	読みとった国際社会の変化の要因を，資料をもとに考察すること。		○				○
⑧	3	(1)		公民　３年	(1)ア 現代日本の歩みと私たちの生活	高度経済成長（期）について理解していること。				○	○	
⑨		(2)	①	公民　３年	(1)ア 現代日本の歩みと私たちの生活	食料自給率について理解していること。				○	○	
⑩			②	公民　３年	(1)ア 現代日本の歩みと私たちの生活	資料から言葉を選び，食料自給率が低下した理由を考察すること。		○				○
⑪		(3)	①	公民　３年	(1)ア 現代日本の歩みと私たちの生活	複数の資料を活用して，その変化の様子を説明できること。			○			○
⑫			②	公民　３年	(1)ア 現代日本の歩みと私たちの生活	資料をもとに，我が国の今後の課題や特色を考察すること。		○				○
⑬	4	(1)		公民　３年	(1)イ 個人と社会生活	具体的な事例から，社会生活における取決めを守ることの意義を考察すること。		○				○
⑭		(2)		公民　３年	(1)イ 個人と社会生活	写真資料から，社会生活で起こり得る問題を見い出すこと。		○				○
⑮		(3)		公民　３年	(1)イ 個人と社会生活	きまりの意義から，きまりを尊重する態度をもつこと。	○				○	
⑯	5	(1)		公民　３年	(2)ア 私たちの生活と経済	なすの入荷量と価格には関連があることを説明できること。			○		○	
⑰		(2)		公民　３年	(2)ア 私たちの生活と経済	資料をもとに，旅行者数の変化と航空運賃の変化が分かるグラフを完成すること。			○		○	
⑱		(3)		公民　３年	(2)ア 私たちの生活と経済	旅行者数と航空運賃の関連を説明できること。			○		○	
⑲		(4)		公民　３年	(2)ア 私たちの生活と経済	市場価格の決定の原理を基に，実際の生活に役立てていこうとすること。	○					○
⑳	6	(1)	A	公民　３年	(3)ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	憲法条文に書かれている権利を理解していること。				○	○	
㉑			C	公民　３年	(3)ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	憲法条文に書かれている権利を理解していること。				○	○	
㉒		(2)		公民　３年	(3)ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	民主的な話し合いを保障する権利について考察すること。		○				○
㉓		(3)		公民　３年	(3)ア 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	現在問題となっているインターネット上の人権侵害について，自分の問題として対処しようとしていること。	○					○